



World Chocolate Day：授業アイデア（簡単版）

世界チョコレートデーをテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. カカオ豆で買い物ゲーム

中学・20分

🎯 数字と買い物の英語を、アステカの「豆のお金」で楽しく練習する。

1. 1545年の記録（ウサギ30粒、トマト1粒、七面鳥100粒）を紹介する。
2. ペアで店員と客になり、How many beans is this rabbit? / It's thirty beans. と会話する。
3. 教師が値段カードを増やし、合計の豆の数を英語で計算する。
4. 最後に「今なら豆100粒で何を買う？」を1文で発表する。

2. 記念日ファクトチェック

高校・40分

🎯 「よく言われる由来」を資料で確かめ、根拠を示して英語で説明する。

1. 「7月7日は1550年にチョコがヨーロッパにきた日」という説を示す。
2. グループで1544年・1585年の記録と比べ、説が確かかどうかを話し合う。
3. This story is (true / not proven) because ... の形で英語にまとめる。
4. ほかの「変わった記念日」の由来も1つ調べて紹介し合う。



1. カカオ豆で買い物ゲーム

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

1545年の記録にあるカカオ豆の値段（ウサギ30粒・トマト1粒・七面鳥100粒）を使い、How many beans is this ... ? / It's ... beans. の買い物の会話ができる。合計の豆の数を英語で言える。

準備

- 値段カード3枚（a small rabbit : 30 beans / a big tomato : 1 bean / a turkey : 100 beans）と絵
- 注文カード（例：two rabbits and three tomatoes / one turkey and one rabbit など、3つの品物の組み合わせを数種類）
- カカオ豆の代わりの紙のチップか、豆の数を書くメモ用紙（ペアに1枚）
- このサイトの英語ページ本文 Money You Could Drink の第1段落の音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	英語ページ本文の第1段落を聞かせ、昔のメキシコではチョコレートの原料のカカオ豆で七面鳥が買えたことを確認する。1545年の記録として、ウサギ30粒・トマト1粒・七面鳥100粒の値段カードを黒板にはる。	本文を聞き、カカオ豆がお金だったことと3つの値段を知る。	"Long ago in Mexico, you could buy a turkey with chocolate." "The money was cacao beans." "A record from 1545 says 100 beans could buy a turkey." "A small rabbit was 30 beans."
展開1	4	How many beans is this rabbit? / It's thirty beans. の会話を板書し、先生が客、クラス全体が店員になって3つの品物で練習する。thirty と thirteen, hundred の発音のちがいに気をつけさせる。1粒のときは It's one bean. と単数になることも確認する。	店員役で値段を英語で答える。thirty と thirteen の発音のちがいを確かめる。	"How many beans is this rabbit?" "It's thirty beans. Not thirteen. Thirty!" "How many beans is this tomato? It's one bean." "Repeat after me."
展開2	5	ペアで店員と客になり、3つの品物で買い物の会話をさせる。客は Can I have a rabbit, please? と頼み、店員が値段を言い、客が紙のチップかメモで豆をはらう。1分ごとに役を交代させる。	ペアで店員と客になり、品物の値段をたずねて買う。役を交代する。	"Work in pairs. One is the shopkeeper. One is the customer." "Customers, ask 'How many beans is this?'" "Then say 'Can I have one, please?'" "Change roles."
展開3	5	注文カードをペアに配り、組み合わせの合計の豆の数を計算させる（例：two rabbits and three tomatoes = 63 beans）。店員役が That's sixty-three beans. と英語で言えたら次のカードに進ませる。複数形（rabbits / tomatoes / turkeys）にも気をつけさせる。	注文カードの合計を計算し、英語で合計を言う。	"Here is an order card. Two rabbits and three tomatoes." "How many beans in total?" "That's sixty-three beans!" "Next card, please."
まとめ	3	「今なら豆100粒で何を買う？」と聞き、I would buy ____ with 100 beans. の形で1文ずつ発表させる。昔は豆100粒で七面鳥1羽だったことと比べて、クラスの答えを楽しむ。	豆100粒で何を買いいたかを英語で1文発表する。	"You have 100 beans. What would you buy today?" "I would buy a new bag with 100 beans." "Long ago, 100 beans could buy a turkey!"

板書例

Cacao beans were money! (a record from 1545)

a small rabbit ... 30 beans

a big tomato ... 1 bean

a turkey ... 100 beans

A : How many beans is this rabbit?

B : It's thirty beans.

A : Can I have one, please?

2 rabbits + 3 tomatoes = 63 beans

That's sixty-three beans.

thirty (30) ⇔ thirteen (13)

I would buy ____ with 100 beans.

評価のポイント

- How many beans is this ... ? / It's ... beans. を使って買い物の会話ができただか。
- 合計の豆の数を英語の数字で正しく言えたか（thirty / thirteen の区別を含む）。
- 複数形（rabbits / tomatoes）を正しく使えたか。

つまづきへの手だて

- 数字が言えない生徒には、10～100の数字の読み方の表を手元に置かせる。
- 計算に時間がかかる生徒には、組み合わせの少ない注文カード（1品目だけ）から始めさせる。
- 会話の流れを忘れる生徒には、店員と客のせりふを書いたカードを渡す。

発展

- 基本セット p.3 のマッチング（chocolate・bean・tree・milk・turkey・rabbit）で語を確かめる。
- 基本セット p.4 のクロスワード（TURKEY のヒントは A big bird. 100 cacao beans could buy one.）に取り組む。
- 記事のトリビアから、アステカの商人がカカオ豆2万4000粒を背負って運んだと言われることを紹介し、それで七面鳥が何羽買えるか計算させる。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文 Money You Could Drink（第1段落）と音声
- 基本セット p.3（マッチング6組）
- 基本セット p.4（クロスワード）



2. 記念日ファクトチェック

授業手順書（詳細版）／対象：高校／40分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

「7月7日は1550年にチョコがヨーロッパにきた日」という説を、1544年・1585年の記録などの資料と比べて確かめる。This story is (true / not proven) because ... の形で、根拠を示して英語で説明できる。

準備

- 説のカード（Some people say chocolate came to Europe on July 7, 1550.）
- 根拠カード4枚（記事の「由来」の節から：1550年の日付を書いた当時の記録は見つからない／1544年、ケクチ・マヤの貴族がスペインの宮廷にチョコレートを献上／1585年、カカオ豆が正式な積み荷としてヨーロッパに運ばれた最初の記録／この記念日のいちばん古い記録は2009年の記念日マーケティングのガイド本）
- このサイトの英語ページ本文 Money You Could Drink の第3・第4段落（印刷）と音声
- このサイトのほかの記念日の記事（世界絵文字デーなど）の「由来」の節の印刷（グループに1つ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	説のカードを黒板にはり、「本当だと思う人は？」と手を挙げさせる。インターネットでよく見る記念日の由来でも、確かめる方法があることを伝え、今日は資料で確かめる「ファクトチェック」をすると説明する。	説が本当かどうかを予想して手を挙げる。	"Some people say chocolate came to Europe on July 7, 1550." "Do you think this is true? Raise your hand." "How can we check?" "Today, we will be fact-checkers."
展開1	10	英語ページ本文の第3・第4段落を音声で聞かせてから読ませる。グループに根拠カード4枚を配り、それぞれのカードが説を支えるか、支えないかを分けさせる。1544年の記録は1550年より前であること、1550年の日付を書いた当時の記録はないことに注目させる。	本文と根拠カードを読み、説を支えるか支えないかで分ける。	"Read paragraphs 3 and 4." "In 1544, Maya visitors brought chocolate to the royal court of Spain." "Nobody has found an old record of the 1550 date." "Does each card support the story or not?"
展開2	8	グループで説が true か not proven かを話し合わせる。「記録が見つからない」ことは「うそだと証明された」と同じではないので、false ではなく not proven という言い方があることを示す。英語版ウィキペディアも「そう言う人もいる」という書き方にとどめていることを紹介する。	グループで説を判定し、true / not proven のどちらかを選ぶ。	"Is the story true or not proven?" ""Not proven" is different from "false."" "No record does not always mean it is a lie." "Talk in your group and decide."
展開3	7	This story is (true / not proven) because ... の形で、根拠を2つ入れた英文を書かせる。根拠には根拠カードの年を必ず1つ使うよう指示する。	判定と根拠2つを英語でまとめる。	"Write your answer in English." "This story is not proven because no record from 1550 has been found." "Use at least one year from the cards."
まとめ	10	各グループが判定と根拠を発表する。続けて、ほかの記念日の記事の「由来」の節をグループで読み、その日がなぜその日付なのかを英語で1～2文にまとめて紹介し合う。記念日の由来には、記録で確かめられるものとそうでないものがあることをまとめる。	判定を発表し、ほかの記念日の由来を読んで紹介し合う。	"Each group, tell us your answer and your reasons." "Now read about another special day." "Why is it on that date? Tell the class in one or two sentences." "Always check the facts."

板書例

FACT CHECK

The story : Chocolate came to Europe on July 7, 1550.

Evidence

- 1550 : no record from that time
- 1544 : Maya visitors → chocolate at the royal court of Spain
- 1585 : first record of cacao beans as cargo to Europe
- 2009 : oldest record of World Chocolate Day (a holiday marketing guide)

true / not proven / false

※ not proven ≠ false

This story is ____ because ____.

評価のポイント

- 根拠カードの内容を、説を支えるか支えないかで正しく分けられたか。
- not proven と false のちがいを理解して判定できたか。
- 年を使った根拠を示して、This story is ... because ... の英文を書けたか。

つまずきへの手だて

- 英文を読むのに時間がかかる生徒には、根拠カードの年に印をつけさせ、1550年より前か後かだけを先に判断させる。
- 判定に迷うグループには、「1550年の記録はあるか」「それより前の記録はあるか」の2つの問いだけを考えさせる。
- 英文が書けない生徒には、no record from 1550 has been found / chocolate came to Spain in 1544 の語句カードを渡す。

発展

- アクティビティ集 B5（国比べ）で、アメリカ・ガーナ・ラトビア・日本のチョコの日を比べ、I want to visit ____ on World Chocolate Day because _____. を書く。
- 記事の「よくある誤解」（カカオの花はミツバチが受粉させる、など）から1つ選び、本当のところを英語で1文にまとめる。
- Discussion の問い Many food days are started by companies to sell more. Is this a problem? Why or why not? について意見を書く。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文 Money You Could Drink（第3・第4段落）と音声
- 記事の「由来」の節（根拠カード用）
- アクティビティ集 B5（国比べ）